

年乃久留萬

中村俊定文庫

文庫 18

978



ハ、柴、びら、り、げ、あ、ら、枝、ま、た、ま、ど、バ  
ヤ、ハ、と、い、ふ、ま、い、は、い、う、さ、い、の、員、あ、り、き  
も、さ、す、け、各、車、室、か、な、柴、積  
車、室、ま、ハ、ソ、ヤ、キ、氏、の、力、を  
さ、す、く、さ、い、の、伊、勢、の、勢、と、社  
ま、し、り、治、る、矣、大、治、代、の  
ま、し、り、ま、た、の、保、岐、ま、し、り、

七

三

ちよらはつき載せしつちよ  
 ちよらと物一はつきつちよ  
 水車ちよら車ハちよ社中  
 けり方ちよらくちよらん  
 の車ちよらりらるちよら庵  
 とちよのちよ  
 推車



しよら始

陸車 ちよらちよらちよらちよら  
 戎車 ちよらちよらちよらちよら  
 羊車 ちよらちよらちよらちよら  
 文車 神の壽詞ヨゴちよらちよらちよら  
 風車 雜少女ちよらちよらちよらちよら  
 薪車 小田乃ちよらちよらちよらちよら  
 乗車 鷄も女ちよらちよらちよらちよら  
 推車 小偶ちよらちよらちよらちよら

新玉の年一とうも四ふれま  
 巾車  
 まきやう一志まふ新や松箔  
 得車  
 きとる乃と名別まけふ清まふ  
 両車  
 上と名新目ふ一や今却のま  
 専車  
 かし一もの敵もめきたる一年男  
 鳩車  
 美つまや実まよと名たよき栞棹  
 田車  
 おまやもの世つうねまふ  
 春車  
 初禮やまうまや一門うま  
 坂車  
 さくれまやと名汲まけま  
 南紀  
 綸車

一う一年まめは幼兒の出来く今八旬ハチ

ほとかりと宗師の蓮葉よ這うまの

吟懐まふまふまふ

之朝や一の兒の麻さまふ  
西叢坊  
 轄其  
 玉う一まはめく一ね一ト女の春  
 安車  
 書始やまま志一ひと字もまえ  
少童  
 還車  
 一うむまふまふとんう神りうま  
 后車  
 平生まま中ま業平いとくと様ま斗米  
 のまま一とまままあまうま

家おき相上りてむく

獲車

海峯のしりあ人しりあ

七十翁 風香

あまのやとるしりあなる福あま

ミソノ 二調

えりや新は海も明のころ

釋 桂嶽

東君のたまものねり初りの生

吳水

古井戸おきあまぬしやあ

加龍

之朝やあまぬしものも新し

里中

知りおきあまぬしの新し

目少

花のまきや音階へん

雨吟

さき乃のしりあやあ

政子

袴ぬいでまきあもさ

神 野風

伊勢さの春はあ

春村

今春初く伊勢の白子

あまの春はあ

目少身あまのしりあ

東武 蝶車

とくしりあ

庵さくさく掛立梅とかがねる  
 安車  
 杉なりゆき米たう年布  
 坂車  
 曳牛の鼻息とらう年本賣  
 樵車  
 さく思ふとらうとらうの  
 巾車  
 河沿や鳥馬等鶴ふもとらう  
 乗車  
 いさくお所乃はまやとらう  
 両車  
 さくさくやとらう朝風  
 得車  
 在所さく細豆もとらう  
 専車  
 さくさくやとらう月くらららら  
 還車  
 九才童

寺もさくさくさくやとらう  
 風車  
 さくさくさくさくさく  
 薪車  
 湯のたれた兒とらう  
 田車  
 すくさくさく井の梅はさくさく  
 鳩車  
 移たさくさくさく鬼とらう  
 羊車  
 梅りさくさくさくさく  
 蝶車  
 月花や雪もさくさく除雪の境  
 后車  
 江戸たさくさくさくさく  
 春車

移のた父の身さくさくさくさく  
 業

のまゝにぬらふまゝにぬらふまゝ

此年おのれをくもくも除夜の鐘 麴車

車くもくもくをくもくもく除夜の鐘 戎車

年つもくもくをくもくもく除夜の鐘 陸車

市中はオハサキ凡横小りや葉竹賣 轄具

偷閑罷ヒマススいうまをくもくもくをくもくもく 獲車

くもくもくもくもくもくもくもくもくもく 綸車

くもくもくもくもくもくもくもくもくもく 文車

年遠きふゆのあま

まゝいそ何やカウケニヤ放ト著まゝく年々の坂 吳水

年おのれをくもくもくもくもくもくもくもく 里中

時のくもくもくもくもくもくもくもくもくもく 目少

縁をやくもくもくもくもくもくもくもくもくもく 雨吟

まゝとみぬけけけけけけけけけけけけけけけけ 桂嶽

目くもくもくもくもくもくもくもくもくもくもく 政子

それまゝの形くもくもくもくもくもくもくもくもく 春村

まゝとみぬけけけけけけけけけけけけけけけけ 二調

春興

ちよ良坂や何となくゆくまの風

轄其

さくらもや席子ゆいさる草叶

二調

まをれゆやさよよ人呼よ人のま

縣車

終よ啼や弄く吹よ守風の色

戎車

野の柳やとまりたるまなく鳥

陸車

路中ぬらでまろくあぞ 片柳を

加竜

まろくくや寝もまろくく寝ま

阪車

まろくくや鳥まろくくむ板席

田車

梢まろくくもろくくぬ柳くま

露友

まろくく初ふ葉まろくくむ往くま

耳谷

まろくくまろくくくや湯まろくくま

晴山

まろくく山やまろくくたも今くま

吳水

まろくくまろくくく一庭の海ろくくま

雨吟

まろくくまろくく風ろくくくくくま

羊車

あけぬのやまろくくくくくま

文車

まろくくまろくくやちろくくくくま

獲車

下ろくくやろくく自れくくくま

后車



まきぬりや才もくねあを被賣人 麴車

まきのうらうききもくねた林いふ <sup>上</sup> 崇古

陽あやもの洗ふ妹う笠の裏 雲子

すね何うくおちりやたる 柳糸 <sup>寺家</sup> 宇北

おちもちや稚兒集觀寸松乃志 棠宇

きつらく啼く中ね小てふ水 無節

さきねふたは子とねくおき水 兔髯

さきやうちもゆ小ねるお救の中 風童

まき賣人のまきを連くく川小蝶水 里北

川家申風の柳ねま下 浮 芦喬

きね月柳もりねくくさき水 帯川

遠きや古根のまきぬりえりつる 無曲

さきね息うけけうくや清子い 蝶車

梅まきまきまきもてくさいまねる 鳩車

稚妻やワれたとらふいとく鳥 礼車

はくくくくはくくくくくくくく 杖系 風車

里遠きまきまきねりききや 鳴蛙 車車

里はくくくくくくくくくくく 梅の心 両車

春風のすくふ満ち山乃色  
 得車  
 草まはまふ室れりる空の家  
 野風  
 羽衣の梢のくぬ柳が  
 春村  
 空のくぬさくすくすく春の也  
 携車  
 流さくぬさくすくすく春の也  
 乗車  
 梅一本さあけの未り明ふきり  
 午車  
 年くさくくはかり色くすの梅  
 巾車  
 四り山乃さあけや花のもくぬん  
 桂嶽  
 孫よつとくくくくくくくくくく  
 風香

まり山乃さあけや花のもくぬん  
 安車  
 空のくぬ山乃さあけや花のもくぬん  
 薪車  
 まり山乃さあけや花のもくぬん  
 春車  
 山乃さあけや花のもくぬん  
 綸車  
 まり山乃さあけや花のもくぬん  
 春車

〇書通三節  
 在南記  
 四山真丁  
 えり山乃さあけや花のもくぬん  
 潘水  
 年さくぬさくくくくくくくくく  
 小之懸蹄の救成乃事小何れく係るね

まじくくの敷ととのねま年をうぬ

和ふ浦眺望

色うやわふのまを乃様細

楓園のきり

るれりや新のつまりり猫のま

東武人

蝶車

せはるまふふたす小袖のまを

后車

書るは繪とままぬがくまにえ出く

麴車

ゆうう者まういくふらふ

文車

月々々豆生のまや澄ひん

獲車

あいろもろくしん小をまをたり

春車

右一吸余畧

安座玉のまはりまはりの  
 ちんちんもまはりまはりの  
 しんもかひまはりのまはり  
 だのまはりまはりもまはり  
 大御國も回一たまひ  
 なまも必年まはりのまはり

とたつみまはりまはりの  
 物一まはりまはりの  
 名まはりまはりの  
 かくまはりまはりの  
 うれとまはりまはりの  
 時まはりまはりの

京三条通寺町西

蕉門俳諧書林 菊舎太兵衛梓

